

地域と連携した防災・防犯対策 の推進について

- 集団下校訓練・学校を避難所とする訓練の試み -



仙台市立黒松小学校

教諭 五十嵐 昌広

昨今の社会情勢や自然災害状況

宮城県沖地震が起きる確率

20年以内・・・88% 30年以内・・・99%

宮城県北部の連続地震の発生

不審者による事件の増加



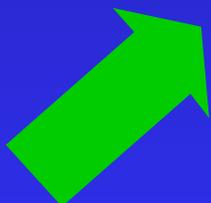
いつ地震や事件が起きても不思議のない状況にある。

学 校



こどもたちの

安心・安全



保護者



地 域

黒松小学校の安全教育関連行事

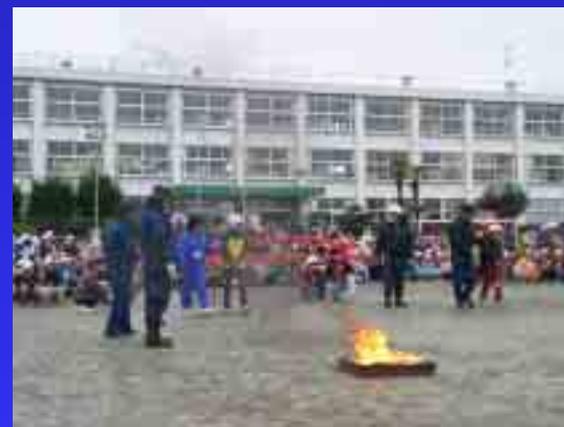
- 4月・・・避難経路の確認
避難訓練(不審者侵入時想定)
- 5月・・・集団下校訓練
- 6月・・・避難訓練(休み時間・地震想定)
- 11月・・・地域総合防災訓練
防災訓練
避難所訓練
児童引き渡し訓練

実践の概要

集団下校訓練



総合防災訓練



集団下校訓練

災害時や防犯上必要と認められる時に、指示に従って、集団で安全に下校する方法を身につけさせる。



集団下校の実施方法

子供会の地区・班をもとにしたグループを作る。

地区別名簿を作成する。

集団下校の実施方法

子供会の地区・班をもとにしたグループを作る。

地区別名簿を作成する。

各子供会に集団下校の世話人を依頼する。

地区担当の教師が補助的な役割を行う。

世話人の指示のもと、地区別名簿で確認してから集団下校する。

集団下校訓練の様子



成果と課題

集団下校に対する児童や保護者の理解が深まり、スムーズに地区集団を作れるようになった。

高学年の児童が大人と一緒に下級生を世話しようという意識が高まってきた。

学校と連動して、PTAでも子供たちを守る活動が行われている。

参加した人からの反省

集団下校訓練、ご苦労さまでした！！

本日の特用下校訓練、たいへんご苦労様でした。そして、ご協力ありがとうございました。今回が8度目の集団下校でしたが、いろいろと問題点や改善すべき点があったと思います。お気づきの点を上記の表に手書きで書いていただき、お手紙を通じて教壇上でご報告ください。よろしくお願いたします。

地区・班	お名前
19-7.アベニュー / 班	
<p>①フラカードに 向かって集まってくるので、名前の確認はスムーズにできたが、整列した後に静かに並んでいる事ができず、最終的に人数を数える時に大変でした。</p> <p>世話人の人数を増やすとか、放送を使う、整列と呼がかけるなどでも対応できるのかもしれませんが、子供達も「どういう時に」「何のために」集団下校を行うのかを、もう少し理解して訓練に参加すると、状況も良くなるのではないかと思いました。</p> <p>②児童の確認 報告後に正門へと向かったが、歩き出した時点から混雑しており、正門付近でも正門を出てからも立ち止まって進めないという時がありました。</p> <p>整列の完了、報告の時間はほとんど差がない為と思われるが、同じ方向に向かう複数地区が一度に出ても、道も狭く1列でしか歩かないので、例えば、出発の順番を決めおくとか、マイクなどを使って門の方へ誘導する係がいると混雑の解消につながるのではないかと思いました。</p>	

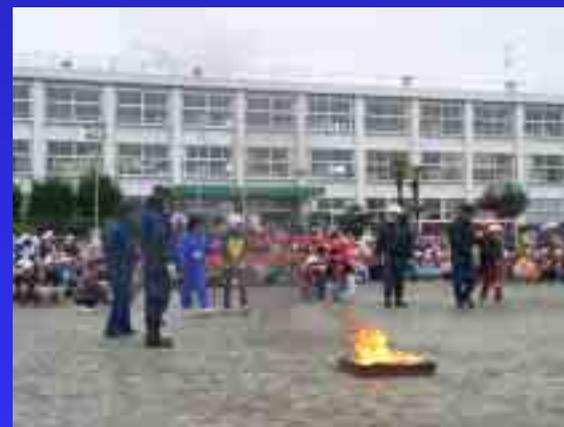
ありがとうございました。

実践の概要

集団下校訓練



総合防災訓練



総合防災訓練

地震及び火災に際し、迅速かつ安全に避難できるようにする。

学校が避難所になった場合を想定し、地域住民と協力体制がとれるようにする。

児童を直接保護者に引き渡せるようにする。

地域住民の一人として、防災・防火の意識を高める。

平成13年度の取り組み

黒松地域防災訓練に参加



消火器訓練



通報訓練

平成13年度の取り組み

黒松地域防災訓練に参加



応急処置訓練



けむり体験

平成13年度の取り組み

黒松地域防災訓練に参加



消防車の説明



バケツリレー

平成14年・15年度の取り組み

授業時間における避難訓練

地域との合同訓練

避難所開放運営訓練

児童引き渡し訓練

平成14年・15年度の取り組み

授業時間における避難訓練



平成14年・15年度の取り組み

地域との合同訓練

平成14年度

6年生によるバケツリレー，消防団の放水訓練の見学

平成15年度

消火器訓練，レスキュー隊による高所救出訓練の見学

平成14年・15年度の取り組み

地域との合同訓練



平成14年・15年度の取り組み

避難所開放運営訓練

ア 避難した人員の確認(名簿作り)

イ 避難所の組織作り

各室責任者 環境管理班

保健衛生班 食料物資班

ウ 本部指示(放送)による組織的行動訓練

エ 非常食の炊き出し訓練と配給

平成14年・15年度の取り組み

避難所開放運営訓練



平成14年・15年度の取り組み

非常食(アルファーマイ)の炊き出しと配給



平成14年・15年度の取り組み

避難所開放運営訓練



平成14年・15年度の取り組み

児童引き渡し訓練



成果と課題

学校が提案者となり、地域住民や消防署と連携して防災訓練の第一歩を踏み出せた。

《訓練に参加した団体》

- ・黒松連合町内会 ・子供会育成会 ・泉消防署南光台出張所
- ・婦人防火クラブ など7団体

地域をあげて防災訓練に取り組んだことにより、児童の意識を高めることができた。

訓練の実施方法が理解不足の面も見られた。今後も継続して、理解の浸透を図りたい。

ま と め

学
校

連 携



地 域
P
T
A



学区民運動会

PTA主催花咲祭

集団下校

総合防災訓練

